

【訪問介護事業所（ヘルパーステーション） 調査票集計】 回答者 13 名

問 1：ケアマネジャーとの連絡・調整について

(1) 要介護（要支援）認定を受けている高齢者について、必要があるとき、担当ケアマネジャーから適切な情報提供が行われていますか？

行われている	ときどき行われている	あまり行われていない	行われていない
11	2	0	0

(2) その際、適切な情報提供等を行っていますか？

行っている	時々行っている	あまり行っていない	行っていない
10	3	0	0

(3) ケアマネジャーや医療機関等の関係機関と連携をする上で、お困りのことはどのようなことですか？（自由記載）

- ・ ソーシャルワーカーがいない病院とのやりとりや、情報の共有がしづらいところ
- ・ 回数増や支援内容等の追加や変更になった際にはサービス担当者会議を開催してご本人の意向を確認する機会や変更となった内容を理解していただく場としたい。（サービス担当者会議が開催されない場合があります）
- ・ 支援計画と要支援者が求めてくる内容が違う
- ・ 本人が必要な支援が何か本人がわからないことがある
- ・ 急な体調不良時に連絡がつかないことがある
- ・ 休日や夜間帯の連絡
- ・ 利用者の方が入院され、その後連絡がないまま、どこかに入所になっていたり、療養型の病院に転院になったりしたときはこちらから聞くまでずっと保留の方がいます。決まったらお知らせいただけるとありがたいです。

問 2：利用者（患者）様が在宅生活（在宅療養）している時の介護保険事業所等との連携

(1) 連携を強化したい職種は？（自由記載）

訪問看護… 5、医師、ホームヘルパー、訪問リハビリテーションスタッフ

介護支援専門員、デイサービス職員、介護保険サービス事業所スタッフ（特養、老健、グループホーム）… 2

(2) (1) の回答理由を教えてください。

訪問看護

- ・ 体調の把握
- ・ 体調変化時、受診などされ、その状況の報告があれば次回の訪問に役立てることができ観察することもできるのと変化の気づきも可能かと思います。
- ・ 直接情報提供した方が良いと思うことがあるが実際に行ってもよいかかわらず、結局はケアマネジャーを通す。
- ・ 急変時や体調悪化時に医療的アドバイスや相談に乗ってくれる 24 時間対応

通所介護職員

- ・ 利用者様には複数事業所が関わっていることが多く、サービス担当者会議以外に情報を共有することが難しい

訪問リハビリテーションスタッフ

- ・利用者様の体調の変化に伴う介助方法や介助をする上での留意点等の連携を図っていくため

介護支援専門員

- ・忙しそうで、月1回の報告書を持参してもなかなか会えない

介護保険事業所

- ・住宅での生活が難しい状態になった時、その方がこまらないよう居場所に繋げるため

(3) 連携強化のために、研修会やケアカフェ（情報交換会）等の機会があれば、参加したいですか？

参加したい	まあまあ参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
6	6	1	0

(4) 市内の他の機関と相談しやすい関係づくりはできていますか？

できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
6	6	1	0

問3：在宅療養について

(1) 在宅療養や在宅での看取りについて、課題と考えるものはどのようなことですか？

- ・緊急時の体制確保と保障
- ・担当医看取りをしていただくことの確認をとること
- ・訪問看護と訪問介護がともに支援をしている中で利用者様が入院した際の情報、また退院したことや状況の変化などの情報共有をお願いしたい。
- ・介護者（家族）の高齢化、家族の協力など
- ・家族のレスパイト
- ・往診で看取りまでしてくれる医師の確保
- ・在宅での療養生活は本人の身体状況により差がありますが、かかりつけ医療機関、家族、介護支援専門員等の情報共有、連携が常に必要となる。
- ・医療機関との連携に時間がかかる
- ・介護者の高齢化
- ・連絡すべきことが急ぐものなのか、翌日でもいいものか判断に困ること
- ・死への不安、おそれに対する死の準備教育

問4：急変時の対応について

(1) 急変時の対応について、ケアマネジャーと情報共有・連携ができていますか？

できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	無回答
3	9	0	0	1

(2) 在宅生活されている患者様の夜間や休日の急変時について課題と感ずることはどのようなことですか？（自由記載）

- ・ケアマネジャー等に相談されても困ることがある。119番に連絡してほしい
- ・訪問看護を利用されているところは支持を受け、対応可能かと思われませんがその他は家族の判断になろうかと思う。
- ・ケアマネジャーの関わりが必要となる独居のケースもあろうかと思います。

- ・ 困っていることに対して随時対応できる体制をとることができるか（人員、時間等）
- ・ 独居や高齢者世帯ではご自分たちで連絡が困難と思われる
- ・ 急変時にすぐに連絡がつかず、対応の相談ができないことがたまにあること
- ・ 同居人が就労しているとき（就労時間が不規則な人が多い）不在であったり疲れていて気づけないことがある
- ・ 緊急連絡先としてご家族様等がいらっしゃらない場合、事業所が行える支援に限界を感じる
- ・ 介護者の体調不良時の対応

（３）担当ケアマネージャーがいる患者様の病状が急変した際に、対応に苦慮したことはありますか？

あり	ときどきある	あまりない	ない	無回答
3	2	6	1	1

（４）（３）で「ある」と回答された方はどのようなことで苦慮しましたか？

- ・ ご家族と連絡がとれないときがある
- ・ 救急車を要請した際に、保険証やカギなど必要物品を準備する必要があったがどこにあるかわからなかった
- ・ 本人が病状が変化していることを受け入れられない時「時々こんなことあるんだよ！」と言われる
- ・ 利用者様に対応して下さる親族がなく、後見人などがいない場合、訪問中の急変時に介護支援専門員との連絡に時間がかかり、救急隊員への返答で事業所として判断できないことがあり困った
- ・ 担当のケアマネージャーと連絡が取れない時

（５）現在の急変時の医療体制で課題と感ずることとはどのようなことですか？

- ・ 受け入れ病院がなかなか決まらないときがある
- ・ 救急車が到着するまでの間の的確な処置
- ・ 受け入れてくれるかどうか
- ・ 人によって病識や感覚に違いがあり、訴え方も違う。関係者のしっかりとした医療知識が求められる
- ・ 専門の救急当番病院がない
- ・ 必要な事項を的確に伝えられるかどうか
- ・ 当番医が内科だと外科は見られない、また外科だと内科は診られないといわれるため、その場合は速やかに他の医療機関を紹介していただくとありがたいのですが…